

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤知子
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3645
事務事業名	4301 農業小学校運営事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費										
	事業	040000 農業小学校運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
子どもたちが、農業の厳しさや楽しさを体験し、たくましい精神力・創造力などを身につけ、世代間交流を通し、仲間づくりや地域連帯感を養い、地域の文化に触れる。						農業体験を通じ、「農業」の厳しさ、楽しさ、食の複雑さを知ることとあわせ異年齢の子ども達や大人達と触れ合うことによるコミュニケーション能力を身に付け、子どもたちの健全な成長の一助とする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集した結果、34人が参加した。	年間18回の授業を計画し募集をしたところ21組の参加申込みがあった。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
年間17回の授業を計画し募集をしたところ23組の参加申込みがあった。	コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集
平成31年度 予定	平成32年度 予定
コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集	コミュニケーションの活性化、授業の充実を図るため適正な人数を募集

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		673	1,090
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	670	152
一般財源		3	938
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.8	0.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,144.7	2,144.7
	嘱託職員	2,212.8	2,212.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,357.5	4,357.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,030.5	5,447.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	70	消耗品費
13節 委託費	500	農地管理運営委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	103	旅費18、役務費(保険料等)60、土地借上料25

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	140	消耗品費
13節 委託費	500	農地管理運営委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	450	旅費313、役務費(保険料等)112、土地借上料25

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	低い
評価コメント	法的根拠はない。 市が主体的に関与する必要はない。 自然体験をする場としては有効。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	自然体験を通じて社会性を育むとともに、食育にも貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	本来は受益者負担が原則と考える。 参加人数が少なくても、畑の管理や農作物の世話など運営上の作業の大変さは変わらない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

規模の大小はあるが、各小学校でも地域住民（農家等）の指導や協力により、野菜の栽培体験や農作業体験をしている。本事業のあるべき姿は、民設民営で、行政は協力という形だと考える。しかし、現状はなかなかそうはいかず、指導者の高齢化による新たな指導者の確保の必要性和運営面での行政の深い関わりが要求される状況にある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農家先生の高齢化、将来的な担い手不足などを考慮しながら、委託事業としての行政の関わり方、農家先生の負担軽減等を検討していく必要がある</p>		<p>10数年の成果を検証する必要がある。また、委託内容・方法の（継続を含め）検討が必要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	